

地域支部設立 20 周年記念式典を開催いたしました



11月24日、勤労感謝の日の振り替え休日の月曜日に『明治大学校友会西東京市地域支部設立 20周年記念式典』を開催いたしました。

当日は穏やかに晴れ渡り、会場のタクトホームこもれびGRAFAREホール（保谷こもれびホール）に多くのお客様をお迎えすることができました。改めてご来場いただいたお客様に感謝申し上げます。

午前10時には一部の役員が集まり、ホールスタッフと式典のための舞台合わせに取り掛かります。

その後、マンドリンコンサートをお願いしたクボタ フィロマンドリーネン オルケスターの皆様がリハーサルのため、三々五々集合してまいりました。皆さん「よろしくお願ひいたします。」と声を掛け合い、さっそく音合わせが始まりました。

お昼過ぎには、他の役員もそろい、お客様をお迎えする準備も整いました。さらには、慶應義塾大学西東京三田会様、法政大学校友会多摩北部支部様、早稲田大学西東京稻門会様より立派なお花をお届けいただき、まさに式典に花を添えていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

入場開始の午後1時30分には、既に何人のお客様の顔が見え、受付では、この日のために作成した20周年記念誌「西東京紫紺会の歩み」と式次第をお渡ししてお客様をお迎えです。

午後2時に松本良一副支部長の司会でスタートし





た記念式典は、矢部善信幹事長の開会の辞の後、物故校友への黙祷、ご来賓の紹介と進みます。

この日は、西東京市長の池澤隆史様と明治大学校友会より三森勲様にご臨席いただき、また、西東京市地域支部が所属する東京都北部支部の荒川区・板橋区・北区・豊島区・練馬区・文京区、そして近隣の小平市・東久留米市の各地域支部の役員の皆様にお越しいただきました。さらには、西東京市で活動されている慶應義塾大学・創価大学・東京国際大学・中央大学・早稲田大学の校友会の皆様もご出席くださいり、ご来賓として紹介させていただきました。本当にありがとうございました。

次に、久保田幸雄より支部長挨拶です。愛称を「西東京紫紺会」と称している西東京市地域支部の20年間の歩みを振り返りました。

2004年度の東京都北部支部定時総会に出席した西東京市在住の校友9名が、西東京市には地域支部が未組織であることを知り、地域支部を立ち上げようと話し合いを開始し、2004年11月28日には西東京市地域支部設立準備会を開催して活動を開始いたしました。

翌2005年の7月24日に開催された明治大学校友会定時代議員総会において正式に設立



が認められ、本年、地域支部設立20周年を迎えたわけであります。

挨拶の結びには、2031年に大学創立150周年を迎える母校明治大学が進める募金への協力を呼びかけ、ご協力いただいた募金額は43,000円に達しました。この募金は、11月26日に駿河台キャンパスを訪ね、大学支援部にお届けしてまいりました。

西東京紫紺会は、次なる30年に向けて「前へ」の精神で進んでまいりますとお約束し、支部長としての挨拶とさせていただきました。

続いて、西東京市長の池澤隆史様と明治大学校友会副会長・東京都北部支部長の三森勲様より大変に心のこもったご祝辞を頂戴いたしました。

次は、映像による西東京紫紺会の活動紹介です。ここ数年間の活動を宮

川尚子様のナレーションにのせて、春から順に映写しました。ご来場のお客様にも西東京紫紺会の活動をよくご理解いただけたのではないかと思います。

記念式典の最後は、濱田豊相談役の閉会の辞、そしてご来場いただいたお客様で記念撮影を行い、無事に第1部の記念式典の幕を閉じることができました。



その後、20分の休憩をはさみ、午後3時20分からは第2部の記念コンサートの開演です。コンサートから入場されたお客様も多く、会場はほぼ満席の盛況です。

久保田孝様の指揮によるクボタ フィロマンドリーネン オルケスター様のマンドリン演奏は、クラシックの名曲から「タイム・ツウ・セイ・グッバイ」や「ムーンリバー」などのお馴染みの曲まで、特に「タイプライター」の演奏では本物のタイプライターを使った演出など、大変楽しいコンサートをご披露いただきました。

最後の演奏は、明治大学校歌です。お客様全員で声高らかに歌い上げることができ、私も感激ひとしおです。林敦子様から指揮者の久保田孝様に感謝の花束贈呈を経て、すべてのプログラムを終了いたしました。



約 2 年間の準備を経て開催いたしました 20 周年記念式典が成功裏に終えることができましたのも、会員はじめ多くの皆様のお力添えあってのことと改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(報告：久保田幸雄、撮影：宮川孝之・小林太)